

平成22年度 第1回いすみ市地域公共交通会議及び活性化協議会 会議録

日 時 平成22年8月10日(火) 午後1時30分～

場 所 いすみ市役所大原庁舎4階 議員控室

出席委員(12名)

国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官(総務企画担当)	齋藤 隆
夷隅地域整備センター所長	鶴岡 春美
千葉県いすみ警察署交通課長	大川 博
社団法人千葉県バス協会専務理事	花崎 幸一
いすみ鉄道株式会社社長	鳥塚 亮
千葉県タクシー協会そとぼう支部長(大原自動車株式会社)	小池 良一
タクシー事業者代表(浪花タクシー有限会社)	松本 眞
元市内交通システム調査委員会会長	丸嶋 登
元市内交通システム調査委員会委員	國藤 清三郎
学識経験者(会長)	浅野 和夫
学識経験者	松本 啓吉
一般乗合旅客自動車運送事業者代表(都自動車株式会社)	北里 健一

代理出席(3名)

いすみ市長	代理 副市長	渡辺 雅文
千葉県総合企画部交通計画課交通企画室長	代理 副主幹	大野 一美
一般乗合旅客自動車運送事業者(小湊鉄道株式会社)	代理 常務取締役	久我 義範

欠席委員(3名)

国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官（輸送監査担当）	成田 齊
東日本旅客鉄道株式会社勝浦駅長	太田 義孝
元市内交通システム調査委員会委員	野村 泰信

事務局（4名）

総務部長	中村 博
総務部企画政策課長	平野 孝幸
総務部企画政策課まちづくり戦略室副主幹	黒須 美智雄
総務部企画政策課まちづくり戦略室主査補	荘司 照雄

議題

- （1）いすみ市地域公共交通の利用実績について
- （2）平成22年度いすみ市地域公共交通活性化協議会の事業計画について
- （3）夷隅乗合タクシーの今後の運行について
- （4）その他

開 会

会長あいさつ

市長あいさつ

出席者紹介

事務局（平野孝幸）

それでは議題のほうに入らせていただきます。進行にあたりましては会長にお願いしたいと思います。

議題（１）いすみ市地域公共交通の利用実績について

議長（浅野和夫）

それでは早速議題に入らせていただきます。事務局の方からご指名でございますのでしばらくの間議長を努めさせていただきます。

それでは、議題に入ります。「いすみ市地域公共交通の利用実績について」を議題といたします。事務局より説明を願います。

（事務局説明）

議長（浅野和夫）

ただ今の説明に対して委員より何かご質問がございますか。

委員（齋藤 隆）

シャトルバスの利用が減った背景というものは何かございますか。

事務局（黒須美智雄）

一つ考えられるのは、学生と通勤でご利用になる方が減ったのではないかと思います。茂原に通う学生の減少と、シャトルバスをご利用になっている方がいすみ市内の方のほか、大多喜町の方もご利用いただいていたと思うのですが、都自動車さんと小湊鉄道さんで茂原まで共同運行している路線の料金設定が同じになったんです。たっけ。

委員（北里健一）

そうです。

事務局（黒須美智雄）

ようするに、大多喜から茂原間が 500 円と、いすみシャトルバスと同じになったので、より近い民間事業者さんのバスに移行したということも考えられると思います。

議長（浅野和夫）

ほかにごございますか。

なければ、次の議題に移らせていただきます。

議題（２）平成２２年度いすみ市地域公共交通活性化協議会の事業計画について

議長（浅野和夫）

続きまして、「平成２２年度いすみ市地域公共交通活性化協議会の事業計画について」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

(事務局説明)

議長（浅野和夫）

説明が終わりました。委員の皆様から質問がございますか。

議長（浅野和夫）

事務局の説明のとおりご了解いただけますでしょうか。

(異議なしとの声あり)

議長（浅野和夫）

ご異議ないようですので、ご了解いただきまして次の議題に移ります。

議題（3）夷隅乗合タクシーの今後の運行について

議長（浅野和夫）

続いて、議題（3）「夷隅乗合タクシーの今後の運行について」事務局から説明願います。

(事務局説明)

議長（浅野和夫）

説明が終わりました。何か質疑がございますでしょうか。挙手をお願いします。

委員（花崎幸一）

システムはどう変わるのか、運行形態はどのように変わるのか。

有資格事業者の営業所の問題はどうなるのか。利用者が減ってきている中、利用料金は現在の設定のままで良いのか。

事務局（黒須美智雄）

現在はNTTのシステムを利用しています、年間のリース料等で400万円程度掛かっておりまして、保守を含めるとそれ以上の経費が掛かっています。新たにシステムを整備するかどうか乗合タクシー運行委員会に諮ったところ必要ないとの結論にいたりしました。1日の利用状況を勘案しますと通信システムを利用しなくても運営が可能であろうと推察しております。事業者のほうでシステムを保有していればそれを利用させていただくことも考えられますが、市及び商工会ではシステムを用意することはありません。また、営業所については、現在の規定では運行エリア内に存在していなければならないこととなっております。事業者が選定された後には営業所の新設等の関係で建物を借用することも考えられますが、その後の対応ということとなります。利用料につきましては、運行委員会で500円に変更してはどうかとの意見がございましたが、検討を重ねていく中で、市民バスが200円で利用できること、シャトルバスが茂原までの距離がありながらも500円ということでドア・ツー・ドアの方式ではあっても300円が適当ではなかろうかということが決まったところであります。

委員（花崎幸一）

わかりました。

議長（浅野和夫）

ほかになにかありますか。

委員（齋藤 隆）

実績から、何便で実施されていたのか。また、乗合タクシーの運行にあたってはシステムを事業者まかせではなく、委託者側である程度整備するなどしなくてはならないと思いますがその辺はいかがでしょうか。

事務局（黒須美智雄）

現在の運行は午前8時から運行がはじまりまして、迎えが8便、送りが6便、それぞれ北部・南部同じです。最終が午後4時となります。また、システムの関係は、選定される事業者により保有するシステムも相違があると思われまして、ハンズフリーでの伝達や無線、メール等考えられますが、プレゼンテーションが終了し事業者が決定次第、詳細については協議していきたいと考えています。

委員（齋藤 隆）

現在の輸送状況を見ると、果たしてワゴン車が必要かどうか、その辺のお考えを教えてください。

事務局（黒須美智雄）

セダン型の車両ですと狭い空間での乗合を嫌う方と、先に乗車された方が先に下車する際には後から乗車した方が一度下車しなければならないこと、また、荷物を載せるのにも広いスペースが欲しいとの意見も前からいただいておりますのでワゴン車の導入を計画させていただいたところでもあります。

委員（齋藤 隆）

わかりました。今後申請等が行われていくものと思いますが、個々具体的な内容については、その段階になりましたらその都度運輸支局までご相談いただければと思います。

事務局（黒須美智雄）

ありがとうございます。

議長（浅野和夫）

それでは、ただいまの件につきましてご了解いただけますでしょうか。

（異議なしとの声あり）

議長（浅野和夫）

ご異議ないようですので、ご了解いただいたものといたします。

議題（４）その他

議長（浅野和夫）

その他にはありますが、なにかございますか。

事務局（平野孝幸）

事務局からはありません。

議長（浅野和夫）

それでは、他になければ、これで終わりにしたいと思います。ありがとうございました。